

- 問1 安土桃山時代、豊臣秀吉が行った刀狩は、農民によるどのような行動を防止することを主な目的としていた？
- 問2 1492年にスペインの支援を受けて大西洋を横断し、現在のカリブ海諸島に到達した航海者は誰？
- 問3 1587年にキリスト教の布教を禁止する法令を出した人物は誰？
- 問4 16世紀のドイツで、免罪符の販売を批判し、聖書に基づいた信仰を主張して宗教改革を始めた人物は誰？
- 問5 織田信長が楽市・楽座などの政策を実施し、天下統一の拠点として建設した地名を何という？
- 問6 ルネサンスにおいて復興させようとした、ギリシャやローマの過去の文化を何という？
- 問7 検地によって解体された、中世からの複雑な土地制度を何という？
- 問8 宗教改革後、キリスト教を広めるために日本へ派遣されたイエズス会の宣教師は誰？
- 問9 安土城の障壁画を手がけた、桃山文化を代表する絵師は誰？
- 問10 バテレン追放令が出された後も、豊臣秀吉が継続を認めた貿易を何という？
- 問11 安土桃山時代にポルトガルなどのイベリア半島の国々で行われた貿易を何という？
- 問12 太閤検地において、土地の収穫量を米の量で表した単位を何という？
- 問13 豊臣秀吉が全国を統一するために行った、土地の調査や生産力の把握を目的とした政策を何という？
- 問14 マゼラン艦隊が世界一周の航海に出発した年はいつ？
- 問15 宗教改革において、信仰の唯一の基準として、その教えに立ち返ることを人々に訴えた書物を何という？
- 問16 織田信長によって擁立された、室町幕府の最後の将軍を何という？
- 問17 安土桃山時代に、南蛮貿易で入手することで軍力を高めようとした武器は何？
- 問18 鉄砲がポルトガル人によって日本に伝えられた時期はいつ？
- 問19 16世紀初め、キリスト教において信者に販売された、罪が許される証書の販売に関わった教会組織を何という？
- 問20 安土桃山時代に、武士と農民の身分を明確に区別し、社会の安定化を図った政策を何という？
- 問21 兵農分離の政策において、武士とは別に農業に専念させられた人々を何という？
- 問22 ルネサンスの中で注目され、中世の神中心の考え方から大きく変化した、個人の価値を認める考え方を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 一揆	豊臣秀吉が実施した刀狩は、農民から武器を取り上げることで、こうした一揆の発生を未然に防ぐことを主な狙いとしていました。また、没収された武器は、大仏建立の釘として再利用されるなどと称されました。
問2	答え コロンブス	コロンブスは地球が丸いという考えに基づき、西回りで大西洋を渡ればインドにたどり着けると主張しました。スペインの女王の支援を得て航海に出た彼は、1492年に現在のカリブ海諸島に到達しました。彼は最期までそこをインドの一部だと信じていたといわれています。
問3	答え 豊臣秀吉	天下統一を成し遂げた豊臣秀吉は、1587年にバテレン追放令を出しました。宣教師に日本からの退去を命じ、キリスト教を事実上禁止することで、国家の支配体制を安定させようとした。
問4	答え ルター	ルターは1517年に「95か条の論題」を発表し、信仰のよりどころは教会ではなく聖書にあると主張しました。この主張は活版印刷術によって急速に広まり、多くの人々の支持を得ました。
問5	答え 安土	信長は、既存の権力構造を打破し、経済を発展させるために安土城を建設しました。安土は現在の滋賀県に位置し、そこには楽市・楽座が敷かれました。この場所で試みられた政策は、のちの城下町のモデルとなりました。安土の地は、日本史上最初の本格的な近世城郭の建設地として、当時の政治・経済の中心地として栄えました。
問6	答え 古典文化	ルネサンスでは、それまで顧みられていなかった古代ギリシャ・ローマの文学や哲学、美術を再発見し、そこにある「人間らしさ」を学び直すという動きが起こりました。これは単なる模倣ではなく、新しい表現を生み出すためのエネルギーとなりました。
問7	答え 荘園制度	豊臣秀吉は、こうした古い階層的な土地所有関係を否定しました。土地ごとに耕作する農民一人を名主（なぬし）として登録し、その農民が年貢を納める責任を持つ「一地一作人」の原則を打ち立てました。これにより、貴族や寺社の特権的な収益は失われました。
問8	答え ザビエル	ザビエルはスペイン出身の宣教師で、インドを経て1549年に日本の鹿児島へ到着し、キリスト教を初めて伝えました。当時の日本は戦国時代で、各地の大名も南蛮貿易による利益を求めて宣教師を保護しました。
問9	答え 狩野永徳	狩野永徳は、金箔を背景に用いた「金碧障壁画」の第一人者です。彼の描く絵はダイナミックで力強く、城の内部を飾るのにふさわしい華麗な世界観を表現しました。
問10	答え 南蛮貿易	豊臣秀吉はキリスト教の布教は禁じましたが、経済的利益を考慮し、ポルトガル船などの来航と南蛮貿易自体は許可し続けました。これにより長崎などを拠点に、日本とヨーロッパの活発な交流が維持されました。
問11	答え 南蛮貿易	この時期に行われた貿易を南蛮貿易と呼びます。日本は銀を輸出し、代わりに火薬の原料である硝石や鉄砲、中国産の生糸などを輸入しました。これにより、日本の軍勢力や経済が大きく変わりました。
問12	答え 石高	太閤検地で全国の土地の収穫量を米の量（石）で計算する「石高」制が確立されました。1石は約150キログラムの米で、当時の大名や武士は、自分が領地からどれくらいの収入を得られるか、またどれくらいの軍役を課されるかをこの石高で計算しました。
問13	答え 太閤検地	太閤検地では、全国統一の尺度を統一し、土地の面積と収穫量（石高）を調査しました。これにより、年貢を誰からどれだけ徴収すべきかが明確になり、支配体制が強固になりました。あわせて「刀狩」を行い、武士と農民の身分を分離したことで、安定した社会構造を作りました。
問14	答え 1519年	1519年9月、マゼランはスペイン王カルロス1世の支援を受けて、5隻の船と約270名の船員を率いて出航しました。大西洋を渡り、南アメリカ大陸を迂回して広大な太平洋を横断するという、当時の技術では極めて困難な挑戦でした。
問15	答え 聖書	ルターやカルバンは、信仰の根源は教皇の教えではなく「聖書」にあると説きました。この主張により、一般の人々が聖書を読み、自分たちで教えを解釈する動きが広まり、印刷技術の発達によって翻訳された聖書が広く普及しました。
問16	答え 第15代将軍	足利義昭は、織田信長を頼って上洛し、第15代将軍に就任しました。しかし、信長の意向に従わなかったため、後に信長と激しく対立することになります。
問17	答え 鉄砲	鉄砲はポルトガル人によって種子島に伝えられました。大名たちは、南蛮貿易を通じてこの鉄砲を大量に入手し、足輕に持たせることで集団戦法を確立しました。この技術は、後の信長による長篠の戦いなどでも活用されました。
問18	答え 16世紀半ば	1543年、種子島に漂着したポルトガル人によって鉄砲がもたらされました。これは「16世紀半ば」の出来事として日本史の大きな転換点となりました。当時、火薬の原料である硝石などは自国で十分な量を確保できなかったため、南蛮貿易を通じて輸入することが極めて重要でした。
問19	答え カトリック教会	16世紀初め、教皇レオ10世はサン・ピエトロ大聖堂の改築資金を集めるために免罪符の販売を強化しました。これは購入すれば罪が許されるという証書であり、教会の権威と経済力を象徴するものでした。
問20	答え 兵農分離	豊臣秀吉は刀狩や検地を行うことで、武士を城下町に集めて軍勢力を維持し、農民を土地に縛り付けて農業に専念させました。この「兵」と「農」を切り離す仕組みを兵農分離といいます。
問21	答え 百姓（農民）	豊臣秀吉は「刀狩」を行い、百姓から刀や槍などの武器を取り上げました。これにより、武士と百姓の身分が明確に分けられました。百姓は村に縛り付けられ、農業生産に集中させられることとなりました。
問22	答え 人間性	ルネサンスにおいて、人間は本来自由で創造的な力を持つ存在であるとする「人間中心主義」が提唱されました。個人の能力や美意識を重視するこの思想は、絵画、彫刻、文学といった分野で独自の個性を表現することにつながりました。